绪论 …… (1)
第一章　县衙在地方狱讼制度中的角色 …… (19)
第一节　地方衙门狱讼官员的组织概况 …… (20)
第二节　南宋地方狱讼业务的动态关系 …… (34)
第三节　南宋县衙狱讼事务的繁重 …… (55)
小　结　亲民之官,做县不易 …… (61)
第二章　受词与追证 …… (64)
第一节　受理的规定与程序 …… (65)
第二节　追证的人员与原则 …… (84)
第三节　争讼告罪的风气 …… (110)
小　结　词诉次第,追会供证 …… (120)
第三章　系狱与推鞫 …… (123)
第一节　系狱的手续 …… (124)
第二节　推鞫的刑讯 …… (141)
第三节　牢狱的恐怖感 …… (158)
小　结　一夫在囚,破家灭身 …… (173)
第四章　听讼与定罪 …… (175)
第一节　审问的过程 …… (176)
第二节　“情理法”的运用 …… (194)
第三节　“健讼”的罪与罚 …… (216)
小　结　原情定罪,援法据理 …… (239)

第五章　判决与科刑 …… (240)
第一节　断由的制作 …… (243)
第二节　判决及其社会意义 …… (264)
第三节　科刑及其社会功能 …… (294)
小　结　照条给断,镂榜遍行 …… (315)
第六章　县衙的“狱讼”与官民的生活 …… (319)
第一节　“狱讼”与县官的工作压力 …… (321)
第二节　“狱讼”与县衙公吏的专职化 …… (342)
第三节　“狱讼”与南宋庶民社会 …… (360)
小　结　尔俸尔禄,民膏民脂 …… (377)
结　论 …… (381)

引用及参考书目 …… (389)